

公益財団法人鳥取市文化財団

平成30年度事業計画

公益目的事業

1. 鳥取市に関係した文化・観光・産業に関する資料や文化財の調査、研究、収集、保存及び公開を行うとともに教育普及啓発活動を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 指定管理施設の管理事業

指定管理者として、鳥取市設置の下記指定管理施設を鳥取市と締結する指定管理基本協定書及び年度協定書に基づき維持管理する。

- ① 鳥取市歴史博物館
- ② 鳥取市因幡万葉歴史館
- ③ 仁風閣・宝扇庵
- ④ 鳥取市あおや郷土館
- ⑤ 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館
- ⑥ 鳥取市あおや和紙工房
- ⑦ 城下町とっとり交流館

(2) 展示開催事業

鳥取市の文化等にふれあう機会を提供し、これに対する関心や興味を喚起するため、文化・観光・産業に関する資料を活用し、常設展示、特別展示、企画展示等の展覧会を企画・立案・開催する。

(3) 教育普及啓発事業

鳥取市の文化等をより身近に感じてもらうため、外部有識者や当法人の学芸員による講演会・講座、文化・歴史・産業に関する体験学習等を企画・立案・開催する。

(4) 調査、研究、収集及び保存事業

鳥取市に関係した文化・観光・産業を広く発信するため、各種事業を展開するに当たり、その基礎となる資料の調査、研究、収集を行い、その成果を展示や体験学習に活用するとともにこれを整理保存し、蓄積していく。

(5) 施設貸与事業

上記指定管理施設の効率的な活用を図るとともに、市民等に能動的に施設を活用してもらうことで施設の魅力をさらに高めることを目的に施設の貸与を行う。

(6) 関連物品販売事業

鳥取の文化・観光・産業に関係した物品や各施設で実施する展覧会、教育普及啓発事業に関連した物品の販売を行う。

2. 埋蔵文化財の発掘調査及び整理保管を行い、もって郷土愛の醸成を図り、市民文化の発展及び地域振興に寄与することを目的とする事業。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理保管事業

鳥取市に点在する遺跡の発掘調査を実施し、発掘により出土した遺構や遺物の調査、研究、整理、保管を行い、その成果を報告書にまとめるとともに市民に還元する。

各施設の具体的な事業計画は以下のとおり。

【公益目的事業 1】

鳥取市歴史博物館（やまびこ館）

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市歴史博物館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示の追加・更新	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示室のパネル追加・更新。 ・故障機器類の修繕・交換。 ・パネル展等の開催。 ・企画展・特別展の第2会場利用。
	共催展 「鳥取県指定文化財展」(仮称)	平成30年 4月14日～ 5月20日 (予定)	平成29年度に指定された鳥取県指定の文化財を広く紹介する。 主催：鳥取県教育委員会
	企画展 「鳥取のスポーツ／スポーツを科学する」(仮称)	平成30年 6月3日～ 8月5日 (予定)	平成30年は鳥取県体育協会の設立100周年のため、前期では鳥取県内の体育教育とスポーツの歴史を紹介する。 後期は夏休み期間中の子どもたちを主な対象として、(公財)日本科学技術振興財団の体験型の展示物「スポーツを科学する」を展示する。 (前期)平成30年6月3日～6月17日 (後期)平成30年6月30日～8月5日
	特別展 「明治維新150年 鳥取の明治維新～ 河田兄弟～」 (仮称)	平成30年 9月29日～ 11月11日 (予定)	明治維新150年を迎える節目の年となる平成30年、明治維新と鳥取について展覧会を開催する。尊攘派藩士として活動し、明治期には政府に登用された、鳥取藩士の河田景興・景福兄弟を中心にとりあげ、幕末から明治にかけての活動とともに、幕末の志士との交流を合わせて紹介していく。
	共催展 「第20回鳥取県 児童生徒地域地図 発表作品展」	平成30年 11月17日～ 12月2日 (予定)	夏休み期間に子どもたちが取り組んだ、地図作品の数々を一堂に紹介する。 主催：鳥取県社会教育研究会

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「用瀬(もちがせ) ～鳥取市用瀬郷土 歴史館収蔵資料展 示～」(仮称)	平成30年 12月15日～ 平成31年 3月24日 (予定)	鳥取市用瀬郷土歴史館の収蔵する歴史資料を公開する展覧会。用瀬町金屋の鋳物師関係資料や鳥取市指定保護文化財の東井神社麒麟獅子頭(文政11年(1828)／因府住仏師山本利助の作)が代表的資料。用瀬の地域の人々が遺してきた資料を通じて、用瀬の歴史を紹介する。 (前期)平成30年12月15日～平成31年2月3日 (後期)平成31年2月9日～3月24日
	平成31年度以降の 展示準備	通年	平成31年度開催予定の展覧会「鳥取城再建(池田の城)」、「豊臣期と宮部」(いずれも仮称)の前年度調査・研究等を行なう。
教育普及 啓発事業	学芸員講座	通年	災害(4月)、鳥取県再置(9月)、吉川経家(10月)と、時期に合わせた講座のほか、展覧会にあわせた講座も行い、郷土の歴史への興味を深めてもらう。
	やまびこ・クイズ オリエンテーリン グ	平成30年 5月・10月 (予定)	やまびこ館と樗谿公園を舞台に、未就学児(保護者同伴)から高学年を主な対象とし、より施設への親しみ、関心を深めてもらう。参加者はマップを手がかりに会場に設置されたクイズ問題を探して回答し、タイムと正答数を競う。
	おうちだに工房 「ありがとうのカ ードを作ろう！」	平成30年 5月・6月・ 9月 (予定)	小学生から一般を対象に、感謝の気持ちを込めた手作りのグリーティングカードを作ってもらおう。(母の日・父の日・敬老の日に開催)
	おうちだに工房 「地図作り教室」	平成30年 7月(予定)	鳥取県地域社会研究会との協働による、おうちだにを題材とした地図づくり教室。夏休み初め頃に実施する。
	おうちだに工房 「モバイルを作ろ う！」	平成30年 7月(予定)	夏休みの課題の一助となるようなものづくりに取り組む。
	おうちだに工房 「ハンコづくり」	平成30年 12月(予定)	年始の準備に向けて役立つハンコづくりのイベント。石材またはゴムを使って、オリジナルのハンコを作ってもらおう。
	ハッピーバースデーやまびこ館 18th.「やまびこリ ンピック開催！」	平成30年 6月30日・ 7月1日 (予定)	開館記念日に実施するイベント。開催中のスポーツ展の展示内容を利用し、記録を競うイベントを開催、上位入賞者には賞品を贈呈する。
	歴史散策 (バスツアー)	平成30年 春・秋 (予定)	実際に現地に赴き、解説を交えながら、歴史を体感するバスツアーを、季節の良い春と秋に実施する。
	歴史散策 (山の日記念 「摩尼山」)	平成30年 8月10日	山の日を記念し、歴史を学びながらの登山を楽しむ。
	やまびこ文化祭	平成31年 冬(予定)	映画上映会・鉄道模型ジオラマ運転会・おはなし会・コンサートなどを開催し地域活動との連携を図る。

区分	事業名	期間	事業内容
	資料を読む	平成 31 年 3 月 (予定)	身近な資料を参加者とともにひも解くことで、郷土の歴史への関心をより深めてもらう。 資料整理を含めた初心者向けの講座。
	資料相談室	平成 31 年 冬 (予定)	各家庭に残されてきた歴史的資料等について市民の相談窓口を開設する。
	博物館実習生の受入	平成 30 年 夏	博物館学芸員資格取得に必要な実習として、資料取扱講習、模擬展示企画作成等を行う。
	中学生職場体験の受入	平成 30 年 5 月 (予定)	市内中学校の生徒を受入、学芸業務、受付業務、広報作業、展示案内、ミュージアムグッズ販売など博物館活動の体験を行う。
	博物館年報	通 年	平成 29 年度の博物館活動を冊子にまとめ、報告する。
	出前ミュージアム講座	通 年	博物館で定番メニューを用意し、出前で講演を行う。
	パネル・ミュージアム事業	通 年	財団で共通パネルを制作し、公民館等へ貸し出す。
	博学連携事業	通 年	博物館と学校が連携して地域学習の場を設ける。
調査・研究 収集・保存 事業	資料整理	通 年	未整理資料の整備・目録化を進める。
	流通図書・古書購入	通 年	市民からの問い合わせや、諸事業の企画・立案、情報収集に必要な図書を整備する。
	データベース構築	通 年	館蔵資料の活用強化を図るため、現在は台帳で管理している館蔵資料についてデータベースの構築を行う。
	館蔵資料の修復・保存	通 年	収蔵資料の保存・活用のため、劣化・損傷している資料の修復・修繕並びに資料の有効活用に資する対応を行う。ただし、寄託資料は対象外とする。
	IPM メンテナンス	通 年	主に清掃・温湿度調整などの環境管理と薬剤などを用いた防除を組み合わせることで文化財に被害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止する。
	継続調査	通 年	博物館活動全般についての調査・研究。常設展示運用のため、因幡地方の歴史・文化の調査を継続的に実施する。
	準備調査	通 年	将来的な事業計画のため、準備調査を行う。(盛岡他)
	館蔵資料の写真撮影	通 年	資料の二次利用 (図版等)、劣化防止、情報公開に努めるため、新たに受け入れた博物館資料から選別して記録化 (写真撮影) し、複製を作成して利用の便を図る。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	研修参加	通 年	各種研修に参加し、学芸員の資質向上や知識習得を図る。
	資料購入	通 年	「寄贈」や「寄託」では入手しにくい資料を資料収集の一環として購入し、博物館活動の基本である資料の整備・充実を図る。一定額以上の資料購入にあたっては、資料評価委員会の開催を要請し、協議検討を行う。
施設貸与 事 業	研修室の貸出	通 年	会議・研修・勉強会等のために研修室の利用を希望する団体等に対し、研修室の貸出をする。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当館図録をはじめ、オリジナルグッズや関連書籍、地元工芸品等を来館者に対して販売。一部は鳥取市運営のインターネットショッピングモール「とっとり市」でも販売する。展覧会開催期間は展覧会関連書籍やグッズ等を期間限定で販売。 ・イベントに応じ、館外にて図録等の販売を実施する。 ・オリジナルキャラクターを使用したストラップ等来館記念品として販売を促進する。 ・地域振興の観点から鳥取市国府町上地地区で生産された酒米を活用した清酒「京ヶ原」販売及び泡盛「仁風」の酒類販売を実施する。

鳥取市因幡万葉歴史館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事 業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市因幡万葉歴史館の管理・運営を行う。
	受託事業	通 年	国府史跡ネットワーク案内広場の維持・管理を行う。
展示開催 事 業	常設展示	通 年	万葉歌人大伴家持の紹介をはじめ、万葉・王朝時代の歴史文化、因幡国庁を中心とした古代因幡の歴史や、麒麟獅子舞等の民俗芸能を紹介する。
	企画展 「花に思う～万葉の世界～」	平成 30 年 4 月 28 日～ 6 月 3 日 (予定)	大伴家持生誕 1300 年関連事業。 「万葉集」には花を読み込んだ歌が多数収録されている。いわたさいこ氏の精密で植物学的正確さを求めたボタニカルアートと万葉集歌の展示を行う。

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「家持旅情～大伴家持の旅～」	平成30年 12月中旬～ 平成31年 2月末日 (予定)	大伴家持生誕1300年関連事業。 「万葉集」や「続日本紀」に残された記録を基に、大伴家持が訪れた各地を、家持が通ったと想定される移動ルートなどとともに写真パネル等で紹介し、家持や関連する人々がここで詠んだ歌を紹介する。また万葉集以降の大伴家持の赴任地についても紹介する。
	共催展 里中満智子作品展 「言霊の人 大伴家持」(仮称)	平成30年 7月下旬～ 11月上旬 (予定)	大伴家持生誕1300年関連事業。 大伴家持と万葉集の魅力や功績を伝える展覧会。大伴家持を手がかりとして万葉集について伝え、万葉のふるさと鳥取の魅力を広く発信する機会とし、里中満智子氏による漫画「大伴家持」作品を展示する。 主催：大伴家持生誕1300年記念事業実行委員会
	巡回展 「第11回池田家墓所写真コンクール作品展」	平成30年 12月頃 (予定)	池田家墓所の写真コンクールの作品展覧会。万葉歴史館への入館者には池田家墓所見学者も多く、国府町に所在する史跡の活用、周知活動の一環として開催する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	共催展 「第60回発明くふう展」	平成30年 11月上旬 (予定)	発明くふう展の一般の部、児童生徒の部それぞれの創意工夫あふれる入選作を展示する。 主催：(一社)鳥取県発明協会
	共催展 「鳥取書道代表十人展」(仮称)	平成31年 1月中旬 (予定)	鳥取を代表する書道家十人による作品展。旧正月万葉茶会にあわせて開催する。
	次年度以降の展示準備	通年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、鳥取市歴史博物館や他施設、関係機関との連携、協力をして調査研究、調整を行う。
教育普及 啓発事業	体験講座 「万葉人に変身！ まが玉づくり&万葉衣装体験」	平成30年 4月28日～ 5月6日 7月21日～ 8月15日 (予定)	古代のアクセサリと呼ばれるまが玉づくりと万葉衣装を身につけて、万葉集の時代を感じ興味を深めるとともに、記念撮影を行う。
	「まんれき！ クイズラリー」 (仮称)	平成30年 4月28日～ 5月6日 7月21日～ 8月15日 (予定)	館内及び万葉と神話の庭をじっくり見学しながら万葉歴史館が用意したクイズを解いてもらい、万葉歴史館や万葉時代の素晴らしさを再認識していただく。
	新緑万葉茶会	平成30年 5月中旬～ 6月頃 (予定)	新緑の季節に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞う。

区分	事業名	期間	事業内容
	体験講座 「子ども草木染め 工房」(仮称)	平成30年 7月下旬 (予定)	万葉時代にも行われていた草木染めの体験学習講座。身近な植物を染料に、布に絞りを入れて染める。 指導：国府町内草木染グループ
	体験講座 「万葉の庭散策」 (仮称)	平成30年 5月、9月、10月 (予定)	「万葉と神話の庭」を散策しながら、紫草の草木染、平安貴族がたしなんだ香道の体験講座を開催する。 万葉植物に触れながら、万葉集や古代文化について紹介し、また「万葉と神話の庭」について広く周知する。
	「ジオサイトバス ツアー」(仮称)	平成30年 10月(2 回) (予定)	史跡梶山古墳や旧美敷水源地水道施設の一般公開日に合わせて、国府町内の史跡などのジオサイトを巡り、地域の歴史を学ぶ契機とする。
	講演会 「万葉の時代を語る 大伴家持と万葉集」(仮称)	平成30年 10月中旬 (予定)	里中満智子作品展「言霊の人 大伴家持」(仮称)の関連イベントとして実施。大伴家持についての認知を高めるとともに、万葉歴史館の展示テーマでもある「万葉集」についても伝える講演会とする。 主催：新日本海新聞社
	体験講座 「組紐づくり」	平成30年 11月 (予定)	キットを使って簡単な組紐を作る。 織り方や編み方について楽しみながら体験し、奈良・平安時代の衣装や染色について考える契機とする。
	万葉集講座 「万葉集を読む」 (仮称)	平成30年 年5回(予 定)	既存する日本最古の歌集「万葉集」を、初心者にも分かりやすく解説する講座。 万葉歌碑や万葉史跡を巡り、万葉集への理解を深める契機とする。
	「土に親しむ 焼物講座」(仮称)	平成30年 11月頃 (予定)	古くから人の暮らしに深くかかわってきた鈴や干支を土で作る講座を行う。
	「お正月寄せ植え づくり」(仮称)	平成30年 12月初旬 (予定)	古来より縁起物といわれる花木を用いて、新年を迎えるのにふさわしい寄せ植えづくりを行う。
	体験講座 「万葉かな書道教室」	平成31年 1月(予定)	毛筆で万葉集を書く書道教室。 万葉仮名について学ぶ契機とする。
	旧正月万葉茶会	平成31 1月下旬 (予定)	万葉集最後の歌が詠まれた旧正月に、大伴家持の歌が書かれた茶碗で抹茶を振る舞い、琴の演奏を楽しみながら旧正月を祝う。
	短歌作り教室	平成31 1月下旬 (予定)	大伴家持が歌を詠んだ旧正月に、講師指導のもとに短歌を作る。
	第21回因幡の傘踊りの祭典	平成30 8月18日 (予定)	県東部の傘踊りや手笠踊りの団体などが、「因幡の傘踊り」の発祥の地に一堂に集い豪華競演。 傘踊り体験コーナーや出店、祭典終了後に打上花火を行う。

区分	事業名	期間	事業内容
	第21回万葉集朗唱の会	平成30 10月21日 (予定)	大伴家持が詠んだ歌470余首を参加者全員が万葉衣装に身を包み、思い思いにリレー方式で歌い継ぐ。万葉食の出店や茶席、地産地消コーナーを設置する。
	第19回曲水の宴	平成30 10月21日 (予定)	庭園の遣水に盃を浮かべ、流れにあわせて詩歌を詠む万葉時代に行われた貴族の優雅な歌遊びを再現する。
	雅楽・舞楽の宴 (仮称)	平成30年 5月中旬 (予定)	伝承館を舞台とし、会場を訪れる方々に宴を楽しんでいただく。舞楽、伎楽が因幡万葉歴史館の常設展示のテーマの一つでもあり、当館への理解を深める契機とする。
	カルチャースクール事業	通年	天平ろまんホールにて、ボタニカルアート・水彩画・パッチワーク・短歌・俳句・ストレッチ・ヨーガ整体・陶芸教室などのカルチャースクールを開催する。また、新規事業の企画を随時行っていく。
調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通年	国府町ゆかりの人物や国府町内の石造物、館蔵資料の調査・研究を継続して行う。
	収集・保存	通年	各事業の企画・立案や、情報収集に必要な書籍や資料を収集し、整理・保存する。 寄託・寄贈資料等の受入を行い、資料の収集・保存を行う。
施設貸与 事業	施設貸与	通年	天平ろまんホール、伝承館等施設貸し出しを行う。
	展示室貸与	通年	民俗展示室、企画展示室を貸し出し、文化活動の展覧会及び発表会に活用する。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通年	万葉に関する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 来館者の憩いの場として、喫茶業務を行う。

仁風閣・宝扇庵

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき仁風閣・宝扇庵の管理・運営を行う。
展示開催 事業	企画展 「甦る鳥取城」 (仮称)	通年	鳥取城跡を目的にご来館されるお客様に対して、鳥取池田家や鳥取城に関する展示を開催する。
	巡回展 「第11回池田家墓 所写真コンクール 作品展」	平成30年 9月1日～ 10月14日 (予定)	「池田家墓所写真コンクール」に応募された作品を展示する。併せて池田家の歴代藩主及び墓所の様子を紹介する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会

区分	事業名	期間	事業内容
教育普及 啓発事業	「仁風閣誕生フェア」	平成 30 年 4 月 28 日～ 5 月 10 日 (予定)	仁風閣が完成したのが明治 40 年 5 月 10 日。 この日に焦点をあて、後世に残したい『国指定重要文化財仁風閣』を市民の方に再認識していただくための事業を開催する。 <トークイベント> 5 月 3 日 (予定) <カフェ> 4 月 28 日～ 5 月 6 日 (予定) <ナイトライブ&ナイトカフェ> 5 月 4 日 (予定)
	「秋の仁風閣フェア」	平成 30 年 10 月 6 日～ 11 月 4 日 (予定)	昭和 51 年 11 月 3 日は、仁風閣が国指定重要文化財として一般公開された日となる。 この日に焦点をあて、後世に残したい『国指定重要文化財仁風閣』を市民の方に再認識していただくための事業を開催する。 <トークイベント> 11 月 3 日 (予定) <軽音楽コンサート> 10 月 21 日 (予定) <写真教室> 11 月 4 日 (予定) <カフェ> 10 月 6 日～ 10 月 14 日 (予定)
	「仁風閣サロンコンサート」	平成 31 年 3 月 17 日 (予定)	定期的に演奏会を開催し、地域音楽文化レベル向上へ貢献していく。
	「鳥取城講座（座学・現地）」(仮称)	平成 30 年 7 月 22 日 7 月 29 日 (予定)	仁風閣は鳥取城跡に位置し、鳥取城跡の大手登城路の復元工事が進められるなど、近年、城跡への関心も高まっており、城跡を目的に来られる方に鳥取城を紹介する講座を 2 回開催する。
	トワイライトエクスプレス「瑞風」立寄り事業	平成 30 年 春～秋	西日本旅客鉄道株式会社が平成 29 年春より運行をしている新たな寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」の仁風閣立寄り受入事業として、麒麟獅子舞、民藝喫茶、学芸員解説、特別入室を実施する。 実施日：立寄り時間 45 分 年間 17 回 (予定)
	仁風閣・城跡周辺「観光視点での取組事業」(春・夏)	平成 30 年 4 月・7～9 月 (予定)	仁風閣と鳥取城跡の統合ツアーの企画、斡旋を行っていく。 県外観光客やニューツーリズムに対応する。 仁風閣～宝扇庵お茶席～城跡(巻石垣、季節感)の魅力を紹介する。
	人力車運行事業	平成 30 年 春～秋	山の手通りや薬研堀り周辺の歴史・文化建造物を人力車で巡って、鳥取市の歴史・文化の紹介や観光情報を提供する。 地元鳥取人力車倶楽部と連携して実施する。 運行日：年間 計 18～21 回を予定
	「仁風お茶席」	平成 30 年 春～秋	宝隆院庭園において茶道体験教室を行う。
	「仁風閣ライトアップ」	毎週土曜日 特別期間	毎週土曜日と久松山一帯の「桜まつり」への協力、大型連休、クリスマス等の特別期間に夜間ライトアップを実施する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設貸与 事業	仁風閣の貸出	通 年	市民団体等による展覧会、イベント、結婚式場、結婚式等による記念写真撮影などへの貸出。
	宝扇庵の貸出	通 年	お茶会、結婚式控え室、記念写真控え室などへの貸出。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	国指定重要文化財「仁風閣」に関連する商品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。

鳥取市あおや郷土館

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや郷土館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示 ロビー活用	通 年	山陰海岸ジオパーク展示コーナーとして「鳴り砂」「夏泊の海女漁」「因州和紙」「青谷上寺地遺跡」などについて紹介するとともに、ジオパークに関する情報発信を行う。 成年にちなみ、川六の狛犬作品を写真パネルで紹介する。
	企画展 「生誕 100 年記念 元谷 督太郎 写真 展」(仮称)	平成 30 年 4 月 21 日～ 5 月 27 日	鳥取市出身の写真家元谷督太郎の生誕百年を記念して写真展を開催する。元谷氏は、人々の日常生活や生業などを数多く撮影しているが、青谷町夏泊でも海女さんをはじめとして漁村に暮らす人々や風景を撮影している。
	共催展 「あおや文化まつり 2018」	平成 30 年 6 月 2 日～ 6 月 10 日	青谷町文化協議会に所属する団体による作品を展示する。 主催：青谷町文化協議会
	企画展 「鳥取市歴史博物館所蔵錦絵展」(仮称)	平成 30 年 6 月 16 日～ 7 月 8 日	蛸を題材とした錦絵を中心に鳥取市歴史博物館が所蔵する錦絵を展示する。 錦絵をあおや郷土館で展示するのは初めての試みとなる。
	企画展 没後 10 年記念イラ ストレーション展 「毛利彰とその家 族」(仮称)	平成 30 年 7 月 14 日～ 8 月 26 日	毛利彰氏没後 10 年記念のイラストレーション展。「毛利彰とその家族」をテーマに、毛利彰氏が家族をモデルにして描いた作品や、青谷、鳥取を意識して描いた作品を中心に展示する。彰氏の長女でイラストレーター毛利みき氏の作品も併せて展示する。

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 鉄道写真展「風光 鉄道 vol.3」(仮称)	平成 30 年 9 月 8 日～ 11 月 4 日	関西レイルウェイフォトグラファーズサークル (KRPC) のメンバーが撮影した鳥取県を走る鉄 道、列車、全国の鉄道写真を展示する。
	「青谷高等学校授 業作品展」	平成 30 年 11 月 10 日～ 12 月 2 日	青谷高校と連携し、授業の成果である美術・工芸 作品を展示発表することで学校、地域の連携を図 るとともに、生徒の今後の学習意欲を高める一助 とする。
	企画展 「郷土のカメラマ ンによる写真展 2018」	平成 30 年 12 月 8 日～ 平成 31 年 1 月 6 日	開館以来継続している、鳥取市気高・青谷・鹿野 地域在住の写真愛好家が撮影・制作した写真作品 を展示する。
	「第 14 回鳥取市児 童生徒交流絵画 展」	平成 31 年 1 月 12 日～ 2 月 17 日	気高・鹿野・青谷町の児童・生徒による作品を広 く展示、紹介し市民が地域の子どもの創作活 動の成果に接する機会を設ける。
	企画展 「鹿野町収蔵品 展」(仮称)	平成 31 年 2 月 23 日～ 3 月 24 日	鹿野町総合支所などで所蔵している美術資料など 普段一般の人の目に触れることのない資料を中心 に展示公開する。
	次年度以降の展示 準備	通 年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、 立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調 整を行う。
教育普及 啓発事業	「ジェルキャンド ルで青谷の海を作 ろう！」	平成 30 年 7 月、8 月、12 月 各 1 回 (予定)	青谷海岸の鳴り砂(鳴らなくなったもの)を利用 して、ジェルキャンドルで青谷の海を表現しても らう。ジェルキャンドルの中に入れる小物はオー ブクレイで思い思いに作成してもらおう。
	青谷 3 館連携クイ ズラリー	平成 30 年 7 月下旬～ 8 月下旬 (夏休み期間)	青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、あおや和 紙工房の 3 館をまわってクイズに答える。3 館の スタンプを集めると、先着 200 名に賞品を進呈す る。
	「成年、川六の狛 犬ツアー」	平成 30 年 10 月頃	成年にちなんで、気高、青谷、鹿野、湯梨浜に所 在する川六作品の狛犬を巡るバスツアーを実施す る。
	「動物ポンポンづ くりイベント」	平成 31 年 2 月 23 日～ 3 月 24 日	毛糸を使って動物を作るワークショップ。「鹿野町 収蔵品展」開催期間中随時受け入れ。
	「わくわく体験学 習受入」	平成 30 年 5 月(予定)	青谷中学校 2 年生生徒を受け入れ、博物館事業の 体験を通して、社会への認識を深めてもらう。
	「青谷町魅力発信 連携」	通 年	青谷町総合支所、青谷町ガイドネットワークと連 携し、青谷町の歴史、文化、ジオパークなど地域 の魅力発信のためガイドの紹介や案内(窓口業務) などを行う。
	調査・研究 収集・保存 事業	調査・研究	通 年
館蔵資料の整理・ 確認		通 年	収蔵資料の再整理・確認、貸出を行う。

区分	事業名	期間	事業内容
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通年	あおや郷土館に関する図書及び財団刊行物などの関連商品の販売を行う。

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通年	鳥取市との協定に基づき鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	常設展示	通年	鳥取県教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センターと連携し、青谷上寺地遺跡の出土遺物を展示する。年1回展示替えを行う。
	ロビー展示 「県内文化財地図 パネル展示」	通年	鳥取県内の文化財所在地や発掘調査地などの情報をパネルで展示する。
	ロビー展示 「青谷横木遺跡 展」(仮称)	平成30年 6月中旬～ 平成31年 3月中旬	女子群像板絵の出土や古代山陰道の道路遺構などで注目を集めた青谷横木遺跡の調査成果をパネルで紹介する。
	ロビー展示 「2018 発掘調査速 報展」	平成31年 3月～5月	青谷上寺地遺跡の平成30年度の発掘調査の成果を速報版として展示する。
	次年度以降の展示 準備	通年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	体験学習	通年	「弥生のかご作り」「土器・土笛作り」「麻ひもコースター作り」、鑄造体験など子どもから大人まで楽しめる体験を行う。
	ゴールデンウィーク 体験イベント	平成30年 5月	「削って染めて、オリジナル勾玉をつくろう」(仮称) 滑石を削って勾玉をつくり、染料で染めて思い思いの勾玉にするイベントを行う。
	夏休み体験イベン ト	平成30年 7月～ 8月頃	「ジェルキャンドルづくり」、「琥珀勾玉づくり」、など小・中学生を対象に夏休み自由研究課題をサポートする。
	あおいちイベント	平成30年 年3回開催予 定	ようこそ館前で開催されるあおいちに合わせて展示館への誘客を図るため、「鹿の角で魚釣り」、「プラバンアクセサリづくり」などを行う。
	秋・冬季体験イベ ント	平成30年 10月頃～12 月頃	「琥珀勾玉づくり」「トンゴ玉づくり」で子どもから大人まで楽しめる体験イベントを行う。 また、パステルアートで青谷上寺地遺跡から出土した絵画・文様などをモチーフにして絵を描くイベントを開催する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
	妻木晩田遺跡秋麗まつり出張体験	平成 30 年 9 月頃	むきばんだ史跡公園祭りに参加し、体験コーナーを設け青谷上寺地遺跡を情報発信する。
	青谷上寺地遺跡友の会育成事業	通 年	青谷上寺地遺跡友の会の活動を支援するとともに、体験メニューの開発などを共同して行う。
	青谷 3 館連携クイズラリー	平成 30 年 7 月下旬～ 8 月下旬 (夏休み期間)	青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、あおや和紙工場の 3 館をまわってクイズに答える。3 館のスタンプを集めると、先着 200 名に賞品を進呈する。
調査・研究 収集・保存 事 業	資料収集	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び調査成果を使用して製作された図書、論文、考古学の基本図書などの収集。
関連物品 販売事業	関連書籍等の販売	通 年	青谷上寺地遺跡に関する図書及び関連商品の販売を行う。

鳥取市あおや和紙工房

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
施設管理 事 業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき鳥取市あおや和紙工房の管理・運営を行う。
展示開催 事 業	常設展示	通 年	古来の和紙の製法、道具、和紙の現在・未来などの展示を行う。また、体験工房において、流し漉きなど和紙の伝統技術の実演を随時行う。
	企画展 「デイモン・ベイ ×水本俊也 写真 で伝える因州和紙 の魅力」(仮称)	平成 30 年 4 月 21 日～ 6 月 24 日 (予定)	ニュージーランド人の写真家 デイモン・ベイ氏と鳥取県出身の写真家 水本俊也氏による共同和紙写真展。鳥取並びに国内外を舞台にした写真を因州和紙にプリントした作品を展示し、写真分野での和紙の可能性をひろげる。
	企画展 「因州和紙剪画 展」(仮称)	平成 30 年 7 月 7 日～ 9 月 2 日 (予定)	首都圏を中心とした剪画(切り絵)作家たちの因州和紙を使った剪画作品を展示する。
	企画展 「和紙造形作家 齋藤一郎展」 (仮称)	平成 30 年 9 月 15 日～ 11 月 25 日 (予定)	千葉県在住の和紙造形作家 齋藤一郎氏自身が漉いた和紙に、水彩、墨、染料などで色をつけ、繋げたり重ね合わせたりした、独特の造形作品を展示する。
	企画展 「第 15 回鳥取書 道女流選抜展 青 谷展」	平成 30 年 12 月 1 日～ 12 月 16 日 (予定)	各社中から選抜された鳥取県東部を中心に活躍する女性書道家たちによる書の作品を展示する。

区分	事業名	期間	事業内容
	企画展 「第15回因州和紙あかり展」	平成31年 1月12日～ 3月24日 (予定)	和紙あかり作品の全国公募展。鳥取県特産の因州和紙など使用したあかり作品、オブジェなどの照明作品を展示する。
	ロビー展示	通年	鳥取県指定無形文化財「因州青谷こうぞ紙」に関する資料や因州和紙に関連した創作活動などの発表の場として、エントランスホールにおいて随時展示を行う。
	次年度以降の展示準備	通年	次年度以降の展示・イベント・普及事業の企画、立案を行うとともに、調査研究、関係機関との調整を行う。
教育普及 啓発事業	「紙すき体験」	通年	紙すき体験、紙すき体験で作った和紙を使ったランプシェード作り、卒業証書作りなどをはじめ、いろいろな和紙(加工)体験メニューを提供する。地区公民館、小学校等の実習イベントの誘致にも努める。
	写真で伝える因州和紙の魅力展関連事業 「デイモン・ベイ×水本俊也×スライドトークショー」(仮称)	平成30年 4月(予定)	写真家二人のスライドトーク並びに両者による和紙写真の制作談義を行う。
	写真で伝える因州和紙の魅力展関連事業 「因州和紙での写真作品制作会」(仮称)	平成30年 5月(予定)	写真家の水本俊也氏の指導により、持参したデータを因州和紙にプリントする。
	「小箱づくり」(仮称)	平成30年 6月(予定)	因州和紙の染め和紙などを使っておしゃれな小箱を作る。
	因州和紙あかり展関連事業 あかり展出前講座 「出張ワークショップ」(仮称)	平成30年 6月～11月 (予定)	因州和紙あかり展一般部門、ジュニア部門への出品に向けて、学校、地区公民館等に出向きランプシェードづくりの制作指導を行う。
	わくわく夏休み体験 「折り染め和紙でオリジナルうちわづくり」	平成30年 7月～8月 (予定)	流し漉きで漉いた和紙を折り染めにし、“自身作”のうちわを作る。
	「万華鏡づくり」(仮称)	平成30年 7月(予定)	因州和紙を使って万華鏡を作る。
	因州和紙剪画展関連事業 「剪画ワークショップ」(仮称)	平成30年 7月29日 (予定)	剪画作家の指導により、因州和紙を使って剪画(切り絵)作品を作る。

区分	事業名	期間	事業内容
	「和紙の時計づくり」(仮称)	平成30年 8月(予定)	因州和紙を使って時計を作る。
	和紙造形作家 齋藤一郎展関連事業 「ギャラリートーク」(仮称)	平成30年 9月15日 (予定)	和紙造形作家の齋藤一郎氏によるギャラリートークを行う。
	和紙造形作家 齋藤一郎展関連事業 「ワークショップ」(仮称)	平成30年 9月～11月 (予定)	自分で漉いた和紙に色をつけ、繋げたり重ね合わせたりする和紙造形作家 齋藤一郎氏の作品作りを体験する。
	「つまみ細工でブローチづくり」(仮称)	平成30年 10月(予定)	因州和紙を使ってブローチを作る。
	「手すき和紙でお祝いランチョンマットづくり」(仮称)	平成30年 12月2日・ 9日(予定)	流し漉きで漉いた和紙に柿渋を塗り込んでランチョンマットを作り、「紋切遊び」で正月にふさわしい型を切り取りマットに貼り付ける。
	「手すき和紙で墨流し(マーブリング)を楽しもう」(仮称)	平成31年 1月6日・ 13日(予定)	墨流し(マーブリング)という染めの方法を用いて和紙作品を作る。
	切り絵づくり(仮称)	平成31年 1月(予定)	因州和紙を使って切り絵作品を作る。
	因州和紙あかり展 関連事業 「ランプシェードづくり①」(仮称)	平成31年 1月～2月 (予定)	灯り作家の指導により、木と和紙を使って本格的なランプシェードを作る。
	因州和紙あかり展 関連事業 「ランプシェードづくり②」(仮称)	平成31年 1月～2月 (予定)	因州和紙を使ってステンドグラス風のランプシェードを作る。
	青谷3館連携クイズラリー	平成30年 7月下旬～ 8月下旬 (夏休み期間)	青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館、あおや和紙工房の3館をまわってクイズに答える。3館のスタンプを集めると、先着200名に賞品を進呈する。
	「わくわく体験学習受入れ」	平成30年 5月(予定)	青谷中学校2年生の「わくわく体験学習」を受け入れ、体験を通して社会への認識を深める学習を支援する。
	「因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会活動支援・共同事業」	通年	ユネスコ無形文化遺産登録を目指す因州青谷こうぞ紙手すき和紙保存会との協力・共同の活動を通じて、登録へ向けた活動を支援するとともに、職員の手漉き和紙技術の習得に努める。 《予定事業》因州和紙伝統技術研修会、楮栽培、原料づくり等

区分	事業名	期間	事業内容
施設貸与 事業	「西いなば再発見 フォトコンテスト 入賞作品展」	平成31年 2月（予定）	西いなば再発見フォトコンテスト入賞作品の展示。
	研修室等貸出	通 年	会議・研修等のために研修室等の利用を希望する団体等に対し、研修室・多目的ホールの貸出を行う。
	施設備品の貸出	通 年	和紙業者・和紙組合等へ体験工房設置機材（断裁機・ホーレンビーター・スクリーン・カレンダー・打解機等）の貸出を行う。
関連物品 販売事業	ミュージアムショ ップの運営	通 年	地元の因州和紙や和紙加工商品の販売、あおや和紙工房オリジナル商品の製作及び販売を行う。ホームページによる製品紹介と通信販売の拡大により、因州和紙の魅力を広める。特にショップのディスプレイを改善し、ショップの魅力の向上をはかる。

城下町とっとり交流館

区分	事業名	期間	事業内容
施設管理 事業	指定管理	通 年	鳥取市との協定に基づき城下町とっとり交流館の管理・運営を行う。
展示開催 事業	巡回展 「第11回池田家墓 所写真コンクール 作品展」	平成30年 4月28日～ 5月27日 (予定)	「池田家墓所写真コンクール」に応募された作品を展示する。 主催：史跡鳥取藩主池田家墓所保存会
	企画展 「和紙あかり展」 (仮称)	平成30年 7月7日～ 8月31日 (予定)	因州和紙とあかりを融合させた遊楽隣工房の作品を展示する。 関連体験イベント「和紙あかりづくり体験」を夏休みに開催する。
	企画展 「鳥取大地震」 (仮称)	平成30年 9月8日～ 11月30日 (予定)	鳥取大地震の記録をパネルで展示する。 9月には関連講座「昭和18年鳥取大地震（仮称）」を開催する。 連携：鳥取市歴史博物館
	企画展 「大工町の歴史」 (仮称)	平成31年 2月9日～ 3月24日 (予定)	大工町の歴史をパネルで紹介する。
	「尾崎方哉展」	通 年	放哉蔵を活用して、尾崎放哉の句を市内の書道家が書いた作品を展示する。
	「巡回展」	通 年	財団所管施設で開催する展覧会を巡回展示する。

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
教育普及 啓発事業	歳時 端午の節句	平成30年 4月21日～ 5月6日 (予定)	2階全室(5部屋)に端午の節句飾りを行う。
	歳時 七夕	平成30年 7月1日～ 7月7日 (予定)	入館者等に短冊を書いていただき、竹笹に吊るして1週間玄関先に飾る。
	歳時 月見	平成30年 9月24日 (予定)	すすきと団子を飾り、来館者にすすきを提供する。
	歳時 節分	平成31年 2月3日 (予定)	前日の夕方、柊の枝・いわしの頭を串に刺したものを玄関先2ヵ所に設置し、福豆を提供する。
	歳時 ひなまつり	平成31年 2月23日～ 3月3日 (予定)	高砂屋近隣の方々から借用・寄贈されたひな人形を2階に飾りつけをする。3月初旬に関連イベントを開催する。
	季節の植物	通 年	玄関先、中庭の整備を行い、季節の植物を配置する。
施設貸与 事業	貸 室	通 年	多目的交流室(和室、板の間大・小、茶室、納戸)の施設貸出事業。
	家財蔵	通 年	文化芸術の向上に資することを目的に、創作活動を行っている初心者に、作品の展示場として貸し出す。
関連物品 販売事業	ミュージアムショップの運営	通 年	鳥取市の民・工芸品や鳥取市の文化・観光・産業に関連した物品の販売を行う。 市民の憩いの場として、軽食・喫茶の販売を行う。

財団広報事業

区 分	事 業 名	期 間	事 業 内 容
全 施 設 共 通 事 業	広報営業活動	通 年	鳥取市内・郡部の小・中・高校や、福祉施設及び公民館を訪問し、チラシ配布や営業活動を行う。
	ホームページ・SNS保守・管理	通 年	財団ホームページ及び Facebook の保守・管理を行う。
	各種広告	通 年	日本海新聞、高速道路サービスエリア・道の駅、鳥取駅前地下道など各広報媒体を活用して施設のPR活動を行う。
	各種協賛	通 年	しゃんしゃん祭りや池田家墓所写真コンクールなどの展覧会、イベントへの協賛を行う。

博物館等活用教育プログラム策定事業

区分	事業名	期間	事業内容
全施設 共通事業	博物館等活用事業	通年	博学連携プロジェクトチームと連携し、各小・中学校に学習指導要領に基づいたプログラムを提供することで鳥取市文化財団の博物館等施設の活用を行う。
	博学連携だよりの発行	年2回	財団各施設の展覧会やイベントをPRするとともに、博物館資料や郷土の歴史、博物館等の活用方法などを紹介する。

鳥取市歴史文化基本構想基礎調査事業

区分	事業名	期間	事業内容
調査・研究 収集・保存 事業	鳥取市歴史文化基本構想基礎調査事業	通年	鳥取市教育委員会が発注する「鳥取市歴史文化基本構想策定に係る基礎調査業務」について、文化財調査の現状把握と調査方針、分類、データベースの作成など鳥取市歴史文化基本構想を策定するための基礎資料を作成する。

【公益目的事業 2】

鳥取市埋蔵文化財センター

事業名	原因者	調査内容	契約額(千円)	備考
鳥取市内遺跡発掘調査事業	鳥取市	試掘調査 調査面積 600 m ² 整理・報告書作成	9,455	試掘調査
広西所在遺跡発掘調査事業	鳥取市水道局	上水道整備関連事業 整理・報告書作成	3,570	継続事業
鳥取市内遺跡(その2)発掘調査事業	鳥取市	鳥取城跡整備関連事業	8,105	新規事業
埋蔵文化財発掘調査管理運営事業	鳥取市	鳥取市補助金 埋蔵文化財センターの管理運営	2,367	
合計	—	調査面積 600 m ² 報告書作成 2 遺跡分	23,497	